

野口 真広 (Noguchi Masahiro)

早稲田大学アジア研究機構 客員研究員

●経歴

早稲田大学社会科学部研究科博士課程満期退学（2007年3月）。

その他の現任は、神田外語大学 非常勤講師、国立公文書館公文書専門員。

主な前歴は、早稲田大学社会科学部助手（2004年4月～2006年3月）、早稲田大学政治経済学部客員研究員（2007年4月～2008年3月）。

●主要業績

・「日本統治期台湾先住民社会の変化—霧社地域を事例に一」、2002年7月、日本台湾学会、『日本台湾学会報』第4号

・「台湾総督府の雲林事件への対応と保甲制--領台初期の台湾人の抵抗と協力」、2007年、早稲田大学大学院社会科学部研究科、『社会学論集』9号

・「台湾人から見た台湾総督府：適応から改革へ向かう台湾人の政治運動について」
Creation of new contemporary Asian studies working paper ; 39、COE-CAS、Waseda University、2007年1月

・「台湾の総統選挙と馬英九」『ワセダアジアレビュー』No.4、日経BP企画、2008年8月

・「石塚英蔵総督の台湾統治改革構想—台湾経験から見る郡警分離問題—」、松田利彦・やまだあつし共編『日本の朝鮮・台湾支配と植民地官僚』、思文閣出版、2009年4月

●ホームページなど

<http://www.geocities.jp/hirohistory/>